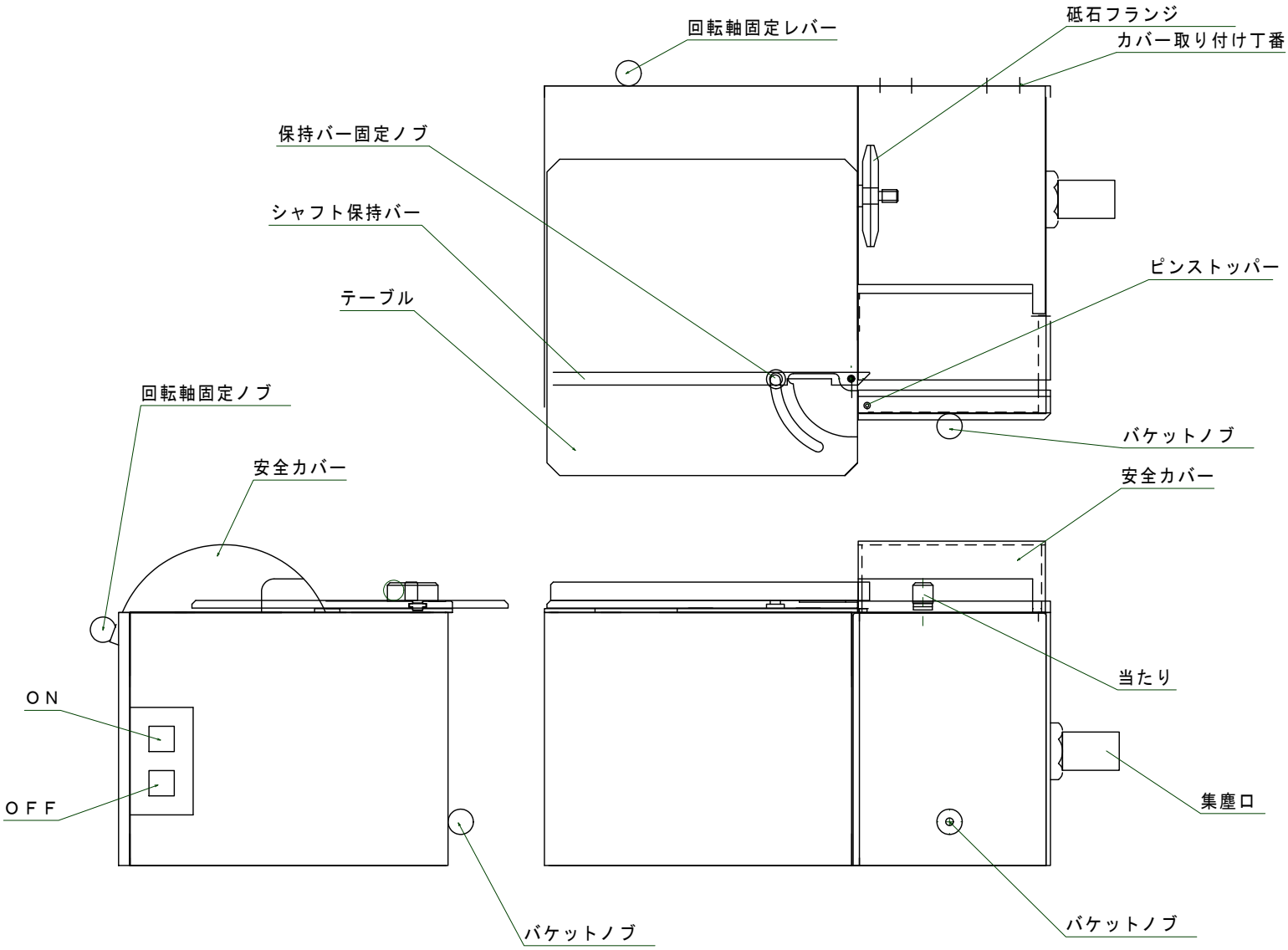
アルク

カッティングマイスター

ＣＣ－３２０

取扱説明書

このたびは カッティングマイスターをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。


回転軸固定レバー
砥石フランジ
カバー取り付け丁番
保持バー固定ノブ
シャフト保持バー
テーブル
ピンストッパー
バケットノブ
回転軸固定ノブ
安全カバー
安全カバー
当たり
ＯＮ
ＯＦＦ
集塵口
バケットノブ
バケットノブ

各部名称図

１　準備前の確認

開封後、下記の付属品が揃っているか確認してください。

１　本体・・・・・・・・・・・・・・・・・１
２　本説明書・・・・・・・・・・・・・・・１
３　安全カバー・・・・・・・・・・・・・・１
４　ノブ（赤玉）・・・・・・・・・・・・・２
５　スパナ・・・・・・・・・・・・・・・・１
６　砥石（０．８ｔ）・・・・・・・・・・・３
７　スキルタッチ（段付ワッシャー付）・１
８　チップ径サンディングプレート・・・１
９　集塵ホース取付口・・・・・・・・・・１

２　作業前の準備

①　すえ付け準備・・・

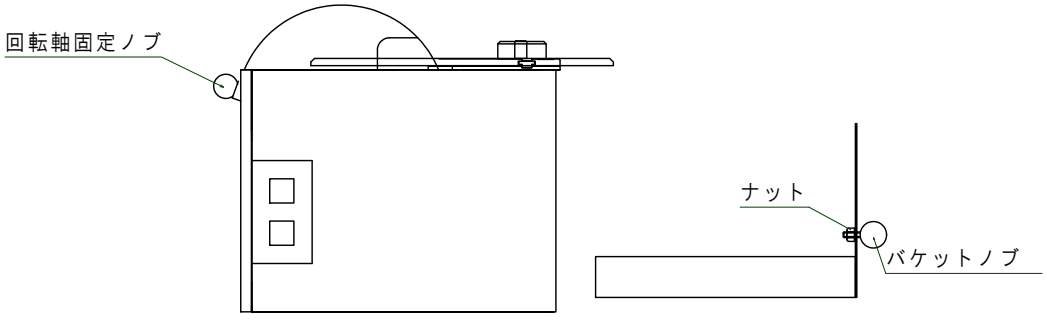
本カッティングマイスターは、安定した作業台上で
ご使用ください。
本体の左右が水平な状態でご使用ください。

②　安全カバーの取り付け・・・

アルクでは安全に作業していただくために安全カバーを
取り付けたのちに本体を使用していただきます。
本体背面の４本のＭ４ビスを利用し安全カバーの丁番部
を取り付ける。

③　回転軸固定ノブ・バケットノブの取り付け・・・

回転軸固定・バケットノブを（図１）参照の上取り付けます。

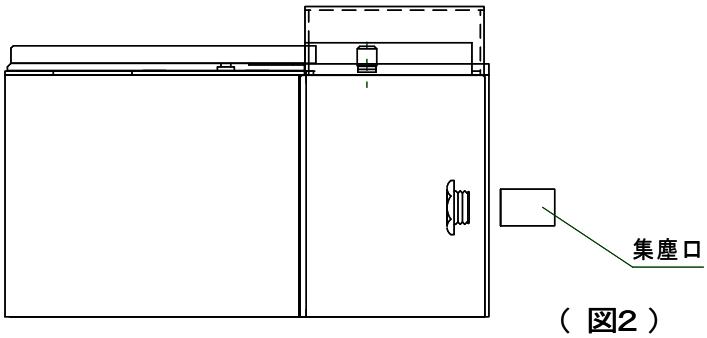


（図1）

④　集塵口の取り付け・・・

付属集塵ホース取付口を（ 図２ ）参照の上、

本体右側面に取り付けます。

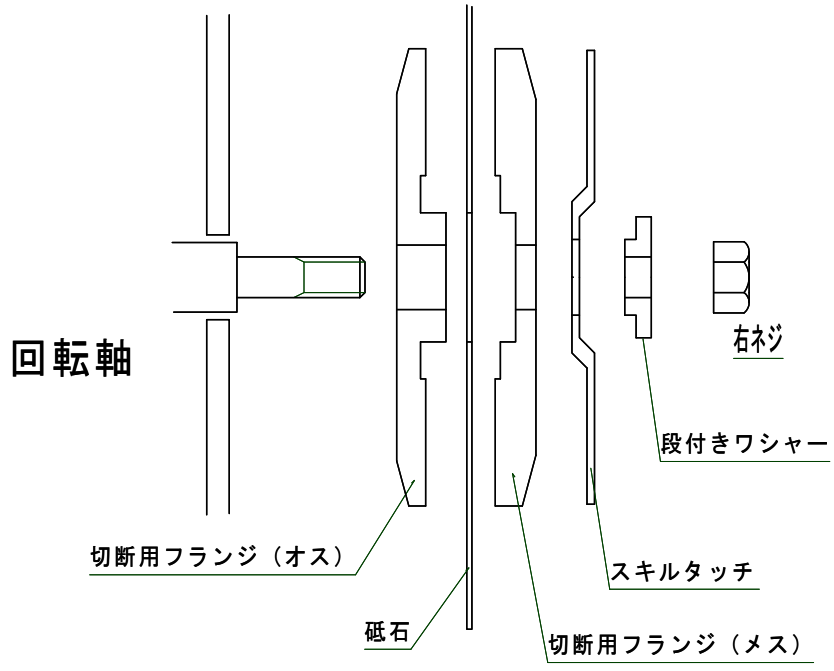


（ 図2 ）

⑤　砥石とフランジの取り付け・・・

電源コンセントを抜き、背面の回転軸固定ノブを押さえながら回転軸を指先で軽く回します。回転軸がレバー先端により固定されたことを確認後、フランジ（ オス ）・砥石・フランジ（ メス ）・スキルタッチ・ワッシャー・ナットの順に（ 図３ ）参照の上、取り付けて下さい。

（ 砥石は大変薄く破損しやすいので取り扱いに注意して下さい。尚、スペアーの砥石・スキルタッチは別途で用意しています。）



（ 図3 ）

３　使用方法

①　端部切断

任意の位置に当たりをセットして下さい。当たりにはインチの目盛りが付いており１／１６インチ～５インチまでカット出来るよう設計してあります。シャフトをテーブルに乗せ、保持バーと指先で摘む様に固定して下さい。そのままテーブルごと前進させて切断します。

１インチ以上の切断の場合はシャフトの半分を切断し、一端戻します。再度シャフトを１８０°回転させ残部の切断をして下さい。切り込みはソフトに行って下さい。砥石は大変薄く危険です。慎重に切断して下さい。

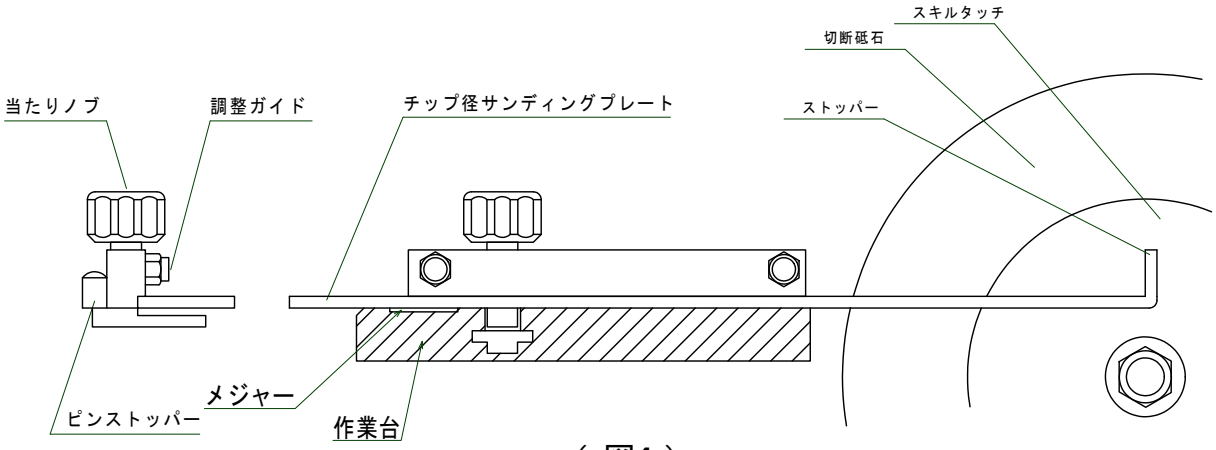
②　スルーボアー用切断

スルーボアーの切断は、シャフト面が斜めに当たる為滑った状態になり砥石が破損します。大変危険なので、より慎重に切断して下さい。

シャフト保持バーを任意の角度に合わせ、保持バー固定ノブを締めて下さい。端部切断の要領でシャフトを固定し切断します。切り込みの最初は砥石にソフトに、より慎重に切断して下さい。

③　チップ径サンディング

電源を切り、当たり・プレートの位置調整をして下さい。当たりをピンストッパーに当て（図４）参照の上チップ径サンディングプレートのストッパーを調整した上で当たりで挟み込みます。



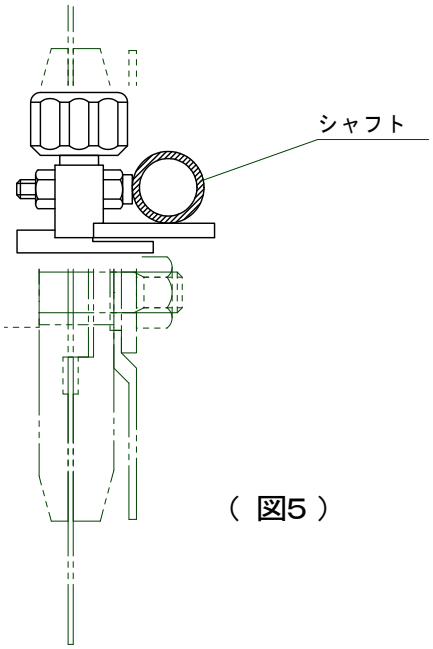
（ 図4 ）

調整ガイドとシャフトを指先で軽く押さえ、シャフトを回転させながら引く様にサンディングします。

尚、出荷時にガイドは調整済みですが、力のいれ具合で少々削れ方が異なります。各工房で微調整して下さい。

（ 図５ ）参照の上、固定ナットを緩め調整ガイドで微調整して下さい。

（ スペアースキルタッチは別途で用意しています。）



（ 図5 ）

４　取り扱いの注意点

① 砥石の取り外しは電源を切り、コンセントを抜き、回転軸停止確認の上作業してください。

② 切り屑と粉塵の清掃は回転軸停止確認の上作業してください。

③ 安全カバーで砥石の保護確認後、電源を入れてください。

④ 電源投入後は絶対に安全カバーを開けないでください。

⑤ 作業開始前に無荷重運転を行い、異常音・異常振動が無いか点検してください。異常音・異常振動等が発生した場合は、ただちに回転を停止し販売元に連絡してください。

⑥ 本体はホーゼルの付いた状態でシャフトの切断をしないでください。

⑦ 本体はゴルフクラブシャフト以外、切断しないでください。

⑧ 回転中の砥石には、指・手・等、身体を接触させないでください。

⑨ 切り込みの最初は砥石にソフトに行い、無理な切り込みはしないでください。

⑩ スルーボアー用のシャフト先端斜めカットを行う場合は、より慎重に切断して下さい。無理に切断しますと砥石が破損します。

⑪ 砥石の目詰まり現象が見られた時は、早めの砥石交換をお願いします。尚、砥石に付いての詳しい使用注意点は別紙に記載しています。別紙をご覧の上ご使用ください。

有限会社
アルク
〒661−0976
兵庫県尼崎市潮江４丁目１−１３
TEL　(06) 6499−7951
FAX　(06) 6499−7953
mail：golf@t-alc.com